

今回の定例会は狛江市議会公明党の4名の議員が一般質問を行い、各議員が皆さまからの要望やご意見、また、日頃から取り組んでいる政治テーマについて質疑をしたその要旨をご紹介します。

小野寺かつき議員

1. 大規模災害発生時の防災情報提供について

正しい情報を提供するための周知としてどのように取り組むことが必要かについて伺う。次に高橋市長になってから、狛江市総合防災訓練の内容が、より実践的な内容に大きく変化したことについて伺う。東京防災隣組の認定状況などについて伺い、狛江市ではどのような取り組みをしているのか伺い、防災活動の団体が増えるよう推進を要望。

2. 広報にAR技術導入を

暮らしの便利帳や外国語版市民生活ガイドの配付状況を伺う。次に広報こまへの市長コラムをホームページへの掲載検討を要望。そして、広報等でスマートフォンを使って動画が見れるAR技術の導入について市の考えを伺い、ひとつのツールとして活用の検討を要望。

3. 歩行者移動支援に関するユニバーサルデザインの推進

思いやりベンチの事業内容と元となった都の事業について伺う。次に「ココシルこまへ」を国の助成で開発することとなった経緯について伺い、市の面積が全国でも二番目に小さいという特性を活かして、また、こまバスなどの公共交通を活用したということで、狛江市が最適な条件であったということで実現につながったことを伺う。

石川かずひろ議員

1. 健康長寿を目指す健康維持増進の取り組みについて

健康維持増進について、複数の事業を束ねた包括的な取り組みを行う総合計画のような体系化が必要であり、そこから施策展開を図っていくよう転換が必要。狛江市国民健康保険事業健全化計画が立てられた今、特にその必要性を感じるとの問いに、高橋市長は「新たな事業も含め、個々の事業を個別に考えるのではなく、健康増進について包括的な施策展開が必要」と答えました。

2. 狛江市公共施設設備計画について

福祉作業所の統合について、定員の増、短期入所の機能の拡充、災害時に備えた避難スペースの確保等の為にも、早期の実現を要望しました。また給食センターについては、中学校給食の再開にむけ、少しでも早く開設できるよう前倒しを引き続き要望、市は平成27年の夏休み前に開設できるよう、引き続き前倒しの努力をしていくと答えました。

3. 市における「相談」と「見守り」の体制について

高齢化率の高い地域に対する相談・見守りの対応と体制を強化していくために地域包括支援センターを補完する等の体制整備が必要との問いに、市は特に高齢化率の高い地域については、専門職員を配置した地域における見守り、相談の拠点を順次整備していくと答えました。

かめい和美議員

1. がん検診受診率の向上について

がん検診の受診率 50%の目標を達成するために、子宮頸がん・乳がん検診に無料クーポン券の発行を行ったが、目標達成には程遠いのが現状。受診率が低い要因を把握するため、がん検診に対する意識調査の実施と子宮頸がん・乳がん検診の受診率向上のため、コール・リコール制度（個別受診勧奨）の導入を要望。

2. ワンストップサービスの導入こそ、一番の市民サービス

複数の行政サービスを1か所の窓口で受けられるよう一元化するのが「ワンストップサービス」。市民の利便性を高めるのが一番の行政サービスである。現在、導入を一切考えていない狛江市に対し、ワンストップサービスの導入を強く要望。

3. 発達障害の早期発見に、5歳児健診の導入を

現在の健診制度では3歳児健診以降、小学校入学前の就学時健診まで定期健診が行われていない。関係各部において「5歳児健診は発達障害の早期発見と支援につながる有意義な健診である」との認識があるにも関わらず、連携が図られないまま今日に至っている。未来を担う子ども達の健やかな成長のため、即断・即決・即行動の高橋市長に5歳児健診の早期導入を要望。重ねて児童発達支援センターの早期開設を!

佐々木たかし議員

1. 安全・安心なまちづくりについて

避難所運営について、災害発生時に児童が学校にいる場合は保護者が引取りに来るまで学校で保護するが、さまざまなケースが考えられるため、児童一人ひとりの対応方について保護者と確認することを要望。また、備蓄倉庫内の特に期限があるものについての適切な管理と発電機等の燃料となるガソリンの保管法と取扱い方の徹底を要望。次に許せない振り込み詐欺への対応についての質問。11月末現在で市内の被害は18件で3130万円、巧妙化する詐欺や悪質商法の被害は年末に増加する傾向があり、新卒の詐欺は増える一方で高齢者を大勢の詐欺犯が狙っている中、被害にあった人は「自分は大丈夫」と誰もが思っていたという調査結果もある。市民の皆さまが被害にあわないよう振り込み詐欺撲滅に向けて庁内全体で対策を講じるよう要望。

2. いじめ防止に向けた取り組みについて

「いじめ防止対策推進法」が施行され「いじめの防止等のための基本的な方針」も策定されたことに関し市教委の考え方を伺う。次に大阪府高槻市での「はにたんの子どもいじめ110番」を紹介。インターネット上でいじめの相談等ができ、匿名性も確保できることから第三者からの相談もできる利点もあるため、狛江市でも「こどもいじめ110番」の検討を要望。

狛江市議会議員の政治倫理に関する条例が一部改正されました!

議員提出による条例改正案は12月19日の本会議において、全会一致で可決されました。

改正案では、各議員に毎年、前年度の市民税・都民税、国民健康保険税などの納付状況を書面に記入し、議長に提出することを義務づけるもので、提出の際は証明書類も添付させるものです。

条例施行後は、市民が議長に対して納付状況一覧表の閲覧を請求できることとなりました。

正木きよし議員に辞職勧告決議

正木きよし議員（民主党狛江市議会）が住民税などを約9年間の長きにわたり、計約700万円を滞納していた問題で、市議会は12月19日、正木氏に対する辞職勧告決議案を賛成多数で可決した。決議では、正木氏の行為について「①税金の使い方をチェックする立場の市議が長期かつ多額の税を滞納してきた②当初、報道の大部分を否定し、疑惑の解明に不誠実な対応をしてきた」と指摘した上で、「市議会の信用を失墜（しっつい）させた行為で断じて許せない。職を辞するよう求める」と批判し、議長と正木氏本人を除く市議19人のうち公明党4名を含む計16人の賛成で可決された。